

トップページ

ご挨拶

事前参加登録

プログラム

会場案内

リンク



## ご挨拶

この度、第6回日本心臓弁膜症学会において第6回会長の任を拝命し、2015年12月4（金）・5日（土）に、THE GRAND HALL（東京都港区）において学術集会を開催することになりました。

今回は、昨年のAHA/ACC弁膜症ガイドラインの改定を踏まえた上で、弁膜症に対して多角的にアプローチをして適切な診断治療法を考える学術集会にしたいと考えております。

そのために、内科側からは、AHA/ACC弁膜症ガイドライン改定における中心的役割を果たされたRick Nishimura先生（Mayo Clinic, U.S.A）をお招きし、本邦における弁膜症治療の今後の方向性について議論していきたいと考えております。また、今後の弁膜症治療における欠かせない治療選択肢となったカテーテル治療の経験豊富な塩田隆弘先生（Cedars-Sinai /UCLA, U.S.A.）には、弁膜症カテーテル治療の臨床での最新知識についてご講演いただく予定としております。

そして、外科側からは、明確な結論になかなか辿り着かないIMRの外科治療について一定の結論を引き出してくれたイタリアのKhalil Fattouch先生と、今、最もホットな話題である大動脈弁形成術の一方の旗頭であるEmmanuel Lansac先生を招請し、ご講演いただきたいと思います。

海外から専門家を招いて最新知識をご講演いただくことに加え、わが国を代表する循環器内科医、心臓血管外科医、コメディカルが議論をかわし、より適切な弁膜症の診断ならびに治療法を検討していく場にしていく所存です。

本会が実り多く、有意義なものとなりますよう目下鋭意準備を進めております。多くの皆様に演題応募とご参加をいただき、活発な討論をしていただく事を心より祈念しております。

第6回日本心臓弁膜症学会

会長 高梨 秀一郎（榊原記念病院 心臓血管外科）

大門 雅夫（東京大学医学部附属病院 検査部・循環器内科）

ページトップ